

鷹巣っ子は、家庭・地域・学校の宝

福井市鷹巣小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	5回
地域及び家庭への学校公開	20回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	63人
授業ボランティア（含：低ボラ）	303人
登下校支援ボランティア	600人
その他（公民館行事等）	40人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容

本校では、鷹巣地区の豊かな自然、社会、文化にふれるため、地域の方々の温かなご協力のもと、次のような活動を行った。

(1) 豊かな鷹巣の食を通じての交流

- ① 小学校4・5・6年生とその保護者を対象に「そばを育てて味わおう会」をPTAとJA福井市鷹巣青壮年部との協働で行った。8月21日（日）に種まきを、11月5日（土）に収穫体験を、1月14日（土）にそば打ちを行い、打ちたてのそばを親子で食した。親子で種をまき、実ったそばを刈り取り、それを自らの手で打つという経験を通し、地産地消の大切さと地元食文化を知ることができた。
- ② 4月には学校裏の菊浜近くでよもぎを摘み、よもぎ団子作りを行った。また、5月には鷹巣漁港へ行き定置網漁の水揚げを見学した。7月には、テングサを水洗い乾燥させ、ところてん作りをボランティアの方の指導を受けて行った。11月には、地元の山で採れた柿を児童が皮むきし、一個一個丁寧に干し柿を作った。同じく11月にJA鷹巣のご協力によりもみ殻を使っての焼き芋作りに挑戦した。その他に、特別支援合同学習会では地元でとれた魚を使って、そのさばき方を地域の方に習い、ムニエルや味噌煮を作ったり、6年の総合では地域の食文化にふれる活動として、たこの刺身作りを行ったりした。

(2) 伝統文化や名跡にふれたり、地域の施設訪問等を通じての交流

公民館で高齢者の方とのふれ合いとして、しめなわ作り（6年）昔あそび（幼・1年）を行った。また、免鳥地区に伝わる「夜網節」を民謡クラブの方に習い体育大会で全校で踊った。3、4年生の総合では、地域の高齢者施設に入居及び通われている方と交流し、優しさや相手の立場に立って行動することを経験することができた。6年の社会では、免鳥長山古墳を見学したが、福井市文化財保護センターの方の説明を受け、地域の名跡にふれる学習を行った。



成果と課題

児童はアンケートで鷹巣地区の伝統や文化自然を守り引き継いでいきたいと答えている。これは、どの学年も教育活動の中にふるさと、地域の自然、文化、社会、人とふれ合うことを行っているからといえる。このように、地域の自然を体感し、多様な体験活動を行うことで、地域の伝統行事や文化を継承することを大事にする気持ちが芽生えてきた。また、人と関わる機会を多く持つことで自己存在感を持ち、思いやりの気持ちが育っている。今後も地域での活動や地域の人達との交流を大切にしていきたい。